



各位

上場会社名 株式会社 成学社  
代表者 代表取締役社長 太田 明弘  
(コード番号 2179)  
問合せ先責任者 取締役経営企画部長 藤田 正人  
(TEL 06-6373-1595)

## 業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想ならびに平成23年11月1日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,365	466	418	169	58.36
今回修正予想(B)	8,704	649	617	248	85.28
増減額(B-A)	338	182	199	78	
増減率(%)	4.0	39.1	47.7	46.2	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,854	617	593	213	73.34

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,758	360	138	47.53
今回修正予想(B)	8,092	565	211	72.46
増減額(B-A)	334	205	72	
増減率(%)	4.3	57.0	52.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,352	562	199	68.65

(注) 前期(平成23年3月期)は決算期変更の経過期間であり、当該期間は、平成22年6月1日～平成23年3月31日となります。

#### 修正の理由

連結売上高については、計画比338百万円上回ることとなりました。これは、当社の主力事業である教育関連事業が計画比324百万円上回ったことが主因であります。部門別では、クラス指導部門は計画比160百万円下回ったものの、個別指導部門が引き続き好調に推移し、計画比479百万円上回っております。

費用面については、人件費ならびに人員募集費、新規開校ならびに既存教室改装等の設備投資費用が当初の見込みを上回り、計画比156百万円増加いたしました。

連結売上高の伸びで費用の増加を吸収したことで、営業利益は計画比182百万円、経常利益は同199百万円、当期純利益は同78百万円増加いたしました。

なお、個別業績につきましても連結と同様の理由により、売上高ならびに利益ともに計画を上回ることとなりました。

■当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年11月1日発表)	—	—	—	7.80	15.60
今回修正予想	—	—	—	8.60	16.40
当期実績	—	7.80	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	7.70	—	7.70	15.40

修正の理由

上述のとおり、当期純利益が計画を上回って推移したことから、期末の配当予想額を8.60円(連結配当性向19.2%)に増配いたします。

当社は、連結配当性向25%程度の配当を目安とし、継続的かつ安定的な配当を実施することを配当の基本方針としておりますが、首都圏での事業展開を開始するなど、今後の事業成長に備えた内部留保の重要性が高まっております。このような状況を勘案し、連結配当性向25%には至りませんが、予想を上回る利益を上げる見込みとなったことから株主の皆さまに利益還元を行うことといたしました。

なお、連結配当性向25%を配当実施の目安としておりましたが、今後は具体的な数値目標は明示いたしません。

株主の皆さまに対する利益還元と財務の健全化、事業展開のための内部留保等を総合的に判断し、継続的かつ安定的な配当を実施することといたします。

以 上